

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	埋蔵文化財遺物整理事業	所管	教育委員会教育総務部 文化財保護課
			TEL 2998-9253

事業の目的 (何の為に 行うか)	発掘調査により出土した遺物はそのままでは歴史的資料としての価値は不十分であることから、整理作業によって出土品の年代・用途・特徴を分析し、各遺構の実態、更には遺跡全体の性格を解明するため
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	今までに行った発掘調査の総件数	対象とした数	349	件数
		実際に 利用した数	2,381	点数

活動の内容	(何を したか)	職員の指導のもと、2～3名の作業員がチームとなって行う。遺物の水洗(歯ブラシを使って土を洗い落とす)・注記(出土地点を遺物に記入する)・復元(欠損部分に石膏を入れて残存部分と同じ色を塗る)・実測(遺物を描く)・拓本(土器の文様を墨で写し取る)を行う。図版を作成する。							
活動実績	項目名	整理遺跡件数	21	項目名	整理遺構件数	111	項目名	整理遺物総数	2381
			----- 単位 件			----- 単位 件			----- 単位 点

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	9,616	9,075	11,424	33.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	整理済み率	整理済み件数/全整理件数	349	231	66.2
			----- 単位 件	----- 単位 件	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120500	TEL	2998-9253
事業コード	埋蔵文化財遺物整理事業	担当部課	教育委員会教育総務部 文化財保護課			
120506		グループ	埋蔵文化財			
開始年度		昭和 50 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例							
	関連・類似事業	埋蔵文化財発掘調査事業 発掘調査報告書刊行事業							
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	5節 市民文化	中柱	3 文化財の保存・活用	小柱	(1)文化財の調査収集・市民への紹介
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード	3621	事務改善活動等の充実・強化	
事業開始の背景	発掘調査後は記録としての報告書の刊行が義務付けられている。遺物整理は報告書刊行に先行する事業である。								

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)					
	発掘調査により出土した遺物はそのままでは歴史的資料としての価値は不十分であることから、整理作業によって出土品の年代・用途・特徴を分析し、各遺構の実態、更には遺跡全体の性格を解明するため					
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方		
	今までに行った発掘調査の総件数			整理作業を行った遺物の点数		
	対象数	単位	平成 18 年度	339	件数	545
		平成 19 年度	349	件数	2,381	点数
事業の具体的な内容及び実施方法						
職員の指導のもと、2～3名の作業員がチームとなって行う。遺物の水洗(歯ブラシを使って土を洗い落とす)・注記(出土地点を遺物に記入する)・復元(欠損部分に石膏を入れて残存部分と同じ色を塗る)・実測(遺物を描く)・拓本(土器の文様を墨で写し取る)を行う。図版を作成する。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点				
細かな遺物の実測にデジタル写真を導入し、細部まで正確に実測できるようにした。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		14,795	9,616	9,828	
	決 算 (見込み含む)		5,665	9,075		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.35 人) (7.60 人) (0.20 人) (0.40 人)				
	正規職員人件費		0.70 人	6,440	0.25 人	2,349
	公債費					
	事業費合計		12,105	11,424		
	財源内訳	一般財源		11,579	10,118	5,319
		国・県支出金		526	1,306	560
		受益者負担金				3,949
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		35.8	33.7			
利用数一単位あたり(単位:円)		22,211.0	4,797.8			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	整理遺跡件数	調査回数ごと	件	3	21	10	
		整理遺構件数	住居跡ほか	件	109	111	100	
		整理遺物総数	遺物1点ごと	点	545	2381	2000	
	成果分析	整理済み率	整理済み件数/全整理件数	目標値	339	349	359	
実績				210	231		実績値の拡大を図る1	
%				達成率	61.9	66.2		実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題 計画的に実施することによって、未報告の発掘調査を効率的に報告できる。小規模な調査は1年、大規模な調査は3～5年計画で進めている。化学処理が必要な遺物を精査し計画を立てる。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	未報告の調査を減らす。	最低10件を報告する。	平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由				
本事業は遺跡や遺物に正当な年代を与える重要な事業であるが、人事異動で熟練した職員が不足している現在、新職員の早期習熟が急務となっている。				
評価日	平成20年5月12日	記入者職氏名	埋蔵文化財調査センター所長 中島岐視生	

⑨評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
優先度評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	評価日				
◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ… 有り 計画コード 261						
⑩個別計画における方向性	施策の体系	2-6歴史・文化的環境の保全	施策の方向	2-6-1歴史・文化遺産の保存と活用		
	◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ… 無し 計画コード					
	基本目標					
主要課題						
施策の方向						